

青森市議会だより

第3回 定例会の報告
令和6年8月28日～9月27日

青森市議会議員：自民クラブ

柿崎 孝治



事務所が 変わりました 事務所：〒038-0058 青森市羽白野木和104 電話番号：017-752-9264 (FAX兼用) 携帯番号：090-4887-1907

JR津軽線油川駅について

Q これまで油川地区においては、地域の人々が自分たちのまちをより良くするための活動の一環として、◇野木和公園の清掃活動◇ふるさと海岸の清掃活動◇油川駅の美化及び見回り活動などを通じて、油川駅利用者や地域にある小中学校、高等学校等も巻き込みながら、地域住民や地域に関係する皆さん自らがまちづくりに参画できる機会づくりに尽力しているところであります。私は、JR津軽線を利用する一人として、また、油川地区の活性化の観点から、今後のJR津軽線や油川駅のあり方について、少なからず不安を抱きながら、JR東日本の取組を注視してきました。そのような状況の中、令和5年3月に、JR東日本から油川駅における駅窓口業務の終了が発表され、駅が無人化となることが決定され、今日に至ります。去る8月23日のJR東日本盛岡支社のプレスリリースによりますと、令和5年3月から無人駅となっている油川駅に、油川郵便局が移転するとありましたが、その内容をお知らせください。

A JR東日本株式会社と日本郵政株式会社は、去る令和6年2月21日、両社の経営資源を活用し、「地域コミュニティの弱体化」や「労働の担い手不足」など、日本の抱える社会課題を解決することを目的に、連携協定を締結し、駅窓口業務及び郵便局窓口業務の一体的な運営を推進していくことを発表しました。油川郵便局の移転については、令和6年8月23日付けのJR東日本株式会社のプレスリリースによると、油川駅の駅舎内に（仮称）油川郵便局を開局し、郵便局窓口業務に加えて、駅窓口業務として、列車の発車時刻及び運賃の案内業務、遺失物の預かり業務などを行う予定としています。また、開局時期については、令和6年9月上旬から整備を行い、令和7年春頃を予定しているとのこと。なお、油川駅の利活用の検討については、JR東日本盛岡支社からの説明によると、一つに、平成29年6月、待合所、トイレを併設した新駅舎として整備された比較的新しい駅舎であること。二つに、同社の経営判断により、令和5年3月をもって、窓口業務を終了したところであるが、地域住民から「当面の間、地域として油川駅を管理していきたい」との申し出により、令和5年4月から、同社と油川駅応援実行委員会が連携し、待合室及びトイレ清掃などを実施していること。三つに、同駅から約130メートルの近くにある油川郵便局もまた油川地区住民をはじめ、近隣に住む多くの市民の皆様にご利用されていることなどを総合的に勘案し、これまで同駅の今後のあり方などについて、同社として検討を進めてきたとのこと。

感想や意見など JR東日本盛岡支社としても、油川駅の状況や地域の取組状況を勘案し、利活用について模索していただけたことは非常にありがたいお話だと感じております。また、地域住民が集う油川郵便局が駅舎内に窓口を設けることは、地域のにぎわいの拠点としても非常に期待できるものと考えております。ここで油川駅応援実行委員会の取組を少しご紹介させていただきます。
◇20年来、待合室に生け花を飾っている月折さん生け花の写真
◇青森県立青森第一高等養護学校の駅舎清掃の取組写真
◇青森市立油川中学校の駅ホーム下の清掃の取組写真
◇青森県立青森北高等学校のトイレ清掃の取組写真
以上となります。
バスや鉄道など、地域の足を守る公共交通を持続可能とするためには、公共交通を利用する地域住民や地域に関係する皆さんが、バスや鉄道に対して、愛着を持てるきっかけづくりや仕組みづくりを通じて、公共交通を利用する人を増やす取組が重要であると考えています。

Q この度、油川郵便局が移転することとなりますが、今後も、持続可能な公共交通を構築する上で、地域との連携は重要であると考えますが、市としての見解をお示し下さい。

A 本市としては、この度の駅と郵便局の一体運営が地域住民の利便性向上や公共交通の利用促進に貢献するものであると考えています。また、持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークの構築を目指す本市においては、交通結節点である鉄道駅が多機能化によるコミュニティ拠点化や、バスなどほかの交通モードとの相互接続の環境整備が重要であると認識しています。加えて、油川駅応援実行委員会の取組は、国が提唱する「公共交通、自転車、徒歩などの利用を促進し、自動車への過度な依存を減らすことを目指す取組」いわゆる「モビリティ・マネジメント」の一環であると評価していることから、JR東日本株式会社に対しては、引き続き地域と密接に連携していただくよう要請してまいります。



青森市シャトル・ルートバス「ねぶたん号」について

Q 今年は3月下旬に青森駅自由通路が全線供用開始され、4月下旬には青森駅東口ビルが開業されました。また、青森市シャトル・ルートバス「ねぶたん号」については、新青森駅で4月から発着便が新設され、新幹線からの乗り継ぎ際の利便性も改善され、2ルートに再編されました。新青森駅、青森駅及びフェリーターミナルなど、市内の主要交通拠点並びに三内丸山遺跡や青森県立美術館などの観光施設を結び、主に青森市を訪れる観光客の二次交通として運行している青森市シャトル・ルートバス「ねぶたん号」の令和6年度のこれまでの利用実績をお示しください。

A 令和6年度の運行については、令和5年度の利用実績及び利便性の向上の観点から見直しを行い、二つのルートを計画しました。一つ目のルートは、主にフェリー利用者の利便性を向上させることを目的に、青森駅西口を起終点とし、主要交通拠点である青森駅、青森港フェリーターミナル、新青森駅等を繋ぐ大回りルートを設定すること。二つ目のルートは、新幹線利用者の利便性を向上させることを目的に、新青森駅東口を起終点とし、ねぶたん号利用者の約9割が目的地としている三内丸山遺跡及び青森県立美術館を繋ぐ小回りルートを設定すること。これにより、通年運行期間は一日当たり12便、増便運行期間は一日当たり20便で運行しており、多くの観光客の皆様を目的地まで送客しています。

【西市長公約】市長公約である西プランにおいては、みんなで未来を育てるまちに向けた3つのテーマを示しており、その一つである「人をまもり・そだてる」の中で、世界最高の紙の芸術「ねぶた」の技法をアートとして更に育てることを掲げています。

AOMORI NEBUKO FESTIVAL2024について

Q AOMORI NEBUKO FESTIVAL2024について今後も引き続き開催してほしいと思いますが、市の考えをお示ください。

A 教育委員会では、15名のねぶた師にねぶたの技法を用いた作品NEBUKO（ねぶこ）を制作していただくとともに、青森商工会議所をはじめ、青森ねぶた運行団体協議会などの関係団体に参画いただき、実行委員会を設立した上で、本年7月31日から8月12日までの13日間、青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸を会場にAOMORI NEBUKO FESTIVAL2024（あおもりねぶこフェスティバルにせんにじゅうよん）を開催したところです。NEBUKOとNEBUKOにインスパイアされたアーティストの作品を展示した「NEBUKO Exhibition（ねぶこエキシビション）」は、ねぶた祭りや八甲田丸が就航60周年であることとの相乗効果に加え、会期中の天候にも恵まれたことなどにより、八甲田丸の有料観覧者を含め、国内外から1万683人の来場がありました。また、波を表現したNEBUKOのミニチュアであるcoNEBUKO（こねぶこ）を、実際のねぶた制作と同じ技法を体験しながら制作できる「NEBUCOWorkshop（ねぶこワークショップ）」の参加者数は、1日20人限定の募集に対し、13日間の合計が215人となるなど、盛況のうちに閉幕を迎えたところであります。次回の開催については、今回のAOMORI NEBUKO FESTIVAL2024の開催結果を踏まえ、今後検討してまいります。



感想・要望

継続にあたって、単にイベントとして行うよりも、ねぶた師とねぶた師を取り巻く周りの人達が祭以外でもねぶた道の中で生活していけるシステムの構築とか、アートとしてのねぶたをもっと発信していくのなら、今後も地域の文化芸術関係者との関わりも大事にしていくようなプログラムに発展できるようにしてほしいと思います。また、ねぶた師になれなかったけど技術がある人とか、青森市にはたくさんいると思います。「coNEBUKO」のワークショップを行った際には、朝から行列ができていたと伺いました、毎年この時期「coNEBUKO」のワークショップができればという声が多く上がっています。このような体験づくりに、ねぶた師になれなかった人や紙はりの職人さんなどが関わっていく仕組みを作り、そこに若手のアーティストとかが関係していくと、「ねぶた産業」を作れるのではないかと感じました。

AOMORI NEBUKO FESTIVALのNEBUKO「NEBUKO」は商標登録をしたほうがいいのではないのでしょうか。

青森空港における国際定期便の就航状況について



Q 青森空港における国際定期便の就航状況をお示ください。

A 本市では、陸海空の交通結節点機能を生かした立体観光を推進しており、空の玄関口である青森空港は、外国人観光客の誘客推進に重要な役割を担っています。青森空港における国際定期便の就航状況については、新型コロナウイルスの影響で全線運休となっていたが、本年1月20日に、青森・ソウル線が約3年10か月ぶりに週3往復で運航再開したところです。

さらに、10月29日には、青森・台北線が約4年8か月ぶりに週3往復で運航再開することとなっています。青森・ソウル線の運航再開後、同運航路線における7月までの搭乗客数は約1万8千人となっており、今後、青森・台北線の運航再開により、外国人観光客のさらなる増加が見込まれています。

要望

冬期間年明け八甲田丸が月曜日を休館日としています。昨年、観光客が休館日を知らずに訪れていたとのこともありました。国際定期便の観光客も増加することから、動向を観察し休館日の見直しも検討して頂きたいと思えます。

「涼み処」及び「クーリングシェルター」について

Q 昨年に続き今年の夏も暑く、猛暑・酷暑と天気予報では表現されていました。青森の夏といえばヤマセが吹いて気温が上がらず半袖を着られない、お年寄りやストーブを点けて過ごしているなど、ずいぶん昔の話を思い出されます。今では青森市内の小中学校は冷房が完備され、市の施設にも冷房設備の設置が進んでいます。全国的に熱中症予防の為に一時的に暑さをしのぐ場所「涼み処」が設置されたと報道されていました。青森市役所本庁舎1Fは冷房が効いた広い「涼み処」となっています。本市の「涼み処」及び「クーリングシェルター」の設置の経緯と設置状況をお示ください。

A 令和6年4月1日に施行された改正気候変動適応法第21条5項において、熱中症特別アラートが発表された場合に開放する指定暑熱避難施設いわゆるクーリングシェルターについて、市町村長があらかじめ指定することができることから、本市においては本年4月より指定し、設置したところです。また、涼み処については、本市における市民等の熱中症対策として、熱中症特別警戒アラートが発表されずとも、外出時など一時的に暑さをしのぐ場所として設置し、今年度から、毎年7月1日から9月30日まで常時開放しています。

【設置状況】

本市における涼み処及びクーリングシェルターの設置状況ですが、現在、涼み処については、公共施設25か所、民間施設84か所の合計109か所を常時開放しており、また、熱中症特別警戒アラートが発表された場合に開放するクーリングシェルターについては、公共施設25か所を指定しているところです。



選挙について

Q 1. 買物に訪れた人やそこに勤める人たちが投票しやすい環境が整っているショッピングセンターの期日前投票所、北西部地区ではマエダガーラタウンの閉店に伴い、西部市民センターに設置されていましたが、期日前投票所を今のガーラタウンに再度設置することを検討しているかお尋ねします。
2. 本市において若年層への啓発の取組はどのようなことをやっているのかお示ください。



A 1. マエダガーラモール店が令和5年5月に閉店したことから、同年の県知事選挙、市長選挙の際には、期日前投票所を減じては西地区の利便性の低下につながることから、暫定的な対応として、西部市民センターに期日前投票所を設置いたしました。今年3月、ガーラタウンに新たなテナントがオープンしたことから、現在、施設所有者と期日前投票所の設置について、令和7年参議院議員通常選挙からの設置に向け協議を進めております。
2. 将来の有権者である児童が選挙の重要性を学び、日頃から政治や選挙に対する関心を高めることを目的に、選挙出前講座を実施しますので学区の地域を仮想的な市とし、教師が立候補者となって模擬市長選挙を行います。

令和4年第3回一般質問から要望していた「横断歩道のライン」を引いていただきました

岡町交差点・野木和公園交差点・明誓寺前・旧成田医院前
ねばり強く、何度も何度も関係者に働きかけました。

